

# はぐ♥くみしター

「はぐ♥くみ」子育て電話相談… ☎306-2277

(月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分(正午から午後1時までを除く))

【問い合わせ】健康増進課(保健センター ☎282-2797)



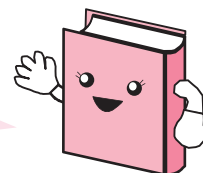
## 子どもの“言葉の発達”を助ける 上手な関わり方を実践してみませんか？

子どもは、周りの世界のいろいろなものに働き掛けて、自分で学ぶ力を持っています。一人ひとりの子どもに個性があるように、言葉の発達にも個人差があります。1歳を過ぎて言葉がなかなか出ないと心配になりますが、言われたことを理解して動くことができたり、「○○どれかな？」という問い掛けに指差しで答えられたりするようであれば、心配することはないと思います。言葉の獲得は、非日常の世界や一方通行の刺激(テレビやスマホの動画など)からではなく、普段の日常生活での自然な関わりからで十分だといわれています。子どもとより良いコミュニケーションが図れる関わり方をご紹介しますので、ぜひ実践してみませんか。

### 「喃語」は話し始めの合図です！

子どもは意味のある言葉を話すようになる前に、声を出したり声の変化を楽しんだりする喃語(「バーバーバー」「マンマンマン」など)を発するようになります。この時期に、大人が積極的に関わると、子どもの発声の頻度や質が向上することも過去の研究で明らかになっています。

日常生活の中で関わり方を意識してみましょう！



### 言葉の発達に効果的な関わり方

▽セルフ・トーク…大人が自分の行動や気持ちを口に出して言う。

▽リフレクティング…子どもの言い間違いをさりげなく正しく言い直して返す。

【例】子「あ、(ヒ)コーキ」→大人「ヒコーキだね」

▽エクспанション…言葉の意味や文法を広げて返す。

【例】子「ブーブ」→大人「大きいブーブだね」

▽ミラーリング…子どもの行動をそのまま、まねをする。

▽モニタリング…子どもの出す声や音をそのまま、まねをする。

▽パラレル・トーク…子どもの行動や気持ちを、代わりに言葉に表す。

【例】おやつを食べて笑顔になった子どもに「おいしいね」と声を掛ける。

### 東海村ヘルスメイトの「おうちで簡単オススメレシピ」

#### ダイコンの甘酢漬け



#### 【材料(4人分)】

- ダイコン…1本
- ◎穀物酢…100ml
- ◎しょうゆ…100ml
- ◎砂糖…200g

#### 【作り方】

- ①ダイコンを皮付きのまま、乱切りまたは厚めのいちょう切りにする。
- ②①を新聞紙やざるに乗せ、日当たりの良い場所に置いて2日間干す。
- ③容器に②と◎を入れて混ぜ合わせる。
- ④③を3日間程度漬けたら、出来上がり♪

☆漬け始めから2日経つと、ダイコンが浮いてきます。重しになるものを用意しておくと、よく漬けることができます！